

2019 年度 F D 実施計画書

学部・学科	栄養科学部 フード・マネジメント学科
F D 取り組みへの理念・目標	
<p>教育目標「栄養科学の知識・技術およびグローバルな視点を持って考える態度を基盤とし、健康増進に寄与する食品の研究・開発・製造のための知見に加え、食科学を国内外へのビジネスへつなげる知見を併せもつことで、高付加価値な食産業を創出できる人材を養成」を達成するために、また第 7 次中期総合計画に則し、文理融合型学科の特性を活かした研究を進めるために、FD を通じて教育研究システムを構築する。</p>	
回数、期間、実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等
<u>初年次教育</u> (4 月)	1. ①推薦入学者を対象とした、ドリルによる自学自習（英語・国語・数学・化学・生物）の徹底について教員間の合意形成を図り、実施する。 ②大学基礎演習として初年次教育のシステム化を図る。 ③プレースメントテスト（英語）による習熟度別クラス編成（ベルリッツ英語学院）のための教員の体制を整備する。また、ラーニングサポートセンターの協力のもと、化学の補完学習を受けるプレースメントテスト（化学）の成績下位学生の基準など化学の補完学習の実施体制を整備する。
<u>TOEIC 受験の推奨</u> (4 月)	2. 英語力向上を目指した TOEIC-ブリッジテストの実施について学科内での合意形成を図り、実施し、その結果を学科内教員で情報共有する。また、TOEIC-IP テストの受験状況、結果についても学科内で情報共有し、TOEIC-IP テストの受験の奨励に教員全員が関わり、語学力の向上を図る。
<u>産学連携授業</u> (4-6 月)	3. 「樹力の源ホールディングス」の協力による「コミュニケーションリーダーシップ演習」につき教員間の合意形成を図り実施する。
<u>インターンシップ・就職支援</u> (4-12 月)	4. 就職支援課とともに、1 期生のインターンシップ受け入れ企業の開拓に向けて、教員が有する協力可能企業の情報等を集約し、情報共有を行う。 5. 学科創設時のコンソーシアム企業・団体を含む 1 期生就職先の再開拓を行う。また、これら企業との継続的な連携が可能となるよう、フード・マネジメント学科の 2 年間の活動報告会を開催する。同時に、関東、関西地域の就職受け入れ候補企業の掘り起こしと学生の就職活動支援を行う。
<u>卒論説明</u> (6~8 月)	6. 前年度に行ったアンケート調査結果を踏まえ、教員それぞれのゼミ活動の説明を含む、学生のゼミ分けの手順を教員間で検討した上で振り分けを実施し後学期からゼミ活動を開始する。併せて、卒論指導に使えるよう、産官学連携を進める施設と設備の充実を図る。

<u>研究活動</u> <u>(10月)</u>	7. 学科プロジェクト研究および大型研究プロジェクトを立案する。
<u>公開授業</u> <u>(10-11月)</u>	8. 従来の相互の公開授業を活用して教員の資質向上を図るほか、これに加え、リカレント教育として可能な科目に関して公開授業を通じて検討する。
<u>資格試験の実施</u>	9. HACCP 管理者認定のためのワークショップ（学会主催）受け入れ（8, 9月）、食品表示検定試験（11月）、フードスペシャリスト資格試験（12月）に向けて、3年次における資格試験受験の重要性を教員間で共有した上で、これらの受験を学生たちに推奨する。
<u>研究の活性化</u> <u>(2月)</u>	10. 「栄養科学部・食物栄養学科合同研究大会」（2月）で研究発表を行い、教員相互の研究情報交流を図る。